



Title	アンケート・参加者集計
Citation	87-97
Issue Date	2017
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/86326
Type	other
Note	北海道大学入試改革フォーラム2017. 2017年5月22日. 北海道大学学術交流会館(札幌). 北海道大学アドミッションセンター主催, 北海道大学高等教育推進機構 高等教育研究部 高等教育研究部門共催
File Information	6_Enquete.pdf



[Instructions for use](#)

アンケート・参加者集計

北海道大学入試改革フォーラム 2017
「高校・大学・社会をつなぐ大学入試を目指して」

参加者アンケート

この度はお忙しい中「北海道大学入試改革フォーラム 2017」にご参加いただき、誠にありがとうございました。お手数ですが、今後の参考のためにアンケートにご協力願います。

※ご記入いただきましたアンケート用紙は、お帰りの際に受付にお渡ししてください。

1. ご所属

- (1) 高校 (2) 大学 (3) 教育産業 (4) その他 ()

2. フォーラムのテーマについて

- (1) 良い (2) どちらとも言えない (3) 改善すべき

<理由> _____

3. 【第1部】基調講演者の発表について

- (1) 良い (2) どちらとも言えない (3) 改善すべき

<理由> _____

4. 【第2部】現状報告者の発表について

- (1) 良い (2) どちらとも言えない (3) 改善すべき

<理由> _____

5. 【第3部】総括討論（パネルディスカッション）について

- (1) 良い (2) どちらとも言えない (3) 改善すべき

<理由> _____

6. 今後の「北海道大学入試改革フォーラム」について、どのような形式・テーマを望みますか。

7. その他（全般的なご意見・ご感想について）

ご協力ありがとうございました。

北海道大学入試改革フォーラム2017

「高校・大学・社会をつなぐ大学入試を目指して」

参加者アンケート集計

●アンケート回収数・・・104（回収率 38.2%）

質問1. ご所属

	人数	割合 ^{注1}
高 校	64	61.5%
大 学	24	23.1%
教育産業	14	13.5%
その他	2	1.9%
無回答	0	0%
合 計	104	100%

質問2. フォーラムのテーマについて

	人数	割合
良い	93	92.1%
どちらとも言えない	8	7.9%
改善すべき	0	0.0%
無回答	3	3.0%
合 計	101	100%

質問2. 理由（「良い」を選択）

- ・興味深いテーマ
- ・現状の入試改革に関するもので、方向性が見えるものだから。
- ・直近に高大接続改革の新渉状況発表があり、タイムリーであった。
- ・少しテーマが散漫な気もしました。
- ・高大接続改革の動向と、北海道大学の改革のつながりを明確に理解できた。
- ・入試改革は高校生に与えるウォッシュバック効果が高く、教育的意義の大きいものである。
- ・北大が求める学生像の全体像がつかめました。
- ・今後の入試動向について他大学とも情報交換が行えるから。
- ・教育現場に直結するので（世間の変化に対応するために大事なテーマなので）。
- ・入試制度変更のみならず世界、世間において求められる人物像等が理解できるので。
- ・現在の北大入試の改革検討の詳細について参考になった。
- ・高校からの入試改革への温度がわかったから。

注1 小数第2位を四捨五入（以下同様）

- ・大学入試改革についてももう少し掘り下げて説明してほしいかった。(今後の高校・大学教育の方向性を検討する機会としてよかった。)
- ・関係者が今、最も注目しているテーマだと思います。
- ・北大が入試をどうとらえているのか知りたいと思ったから。
- ・教育改革の目的等について、理解が深まった。
- ・現在、今後の展開が最も気になる課題だと思うから。
- ・「企業」ではなく「社会」という設定が良い。「社会に開かれた教育課程」は、高校にとっても大学にとっても重要な視点であると考えます。シティズンシップ教育に通じるものと思います。
- ・この時期に強く求められ、すべての教育関係者に関わるテーマのため。
- ・高大接続にとどまらない課題設定であるので。
- ・社会を含めたところがよい。
- ・北大のTGPのデザインと、ここまでの改革の流れをふりかえるとことができました。
- ・最終的に高等教育に求められる「社会還元」までを視野に入れたテーマであり、入試にとどまらない姿勢がよかった。

質問2. 理由（「どちらとも言えない」を選択）

- ・本日の内容からすると改革というテーマである必要はなかった。
- ・テーマはいいです！内容が期待外れでした。
- ・「社会をつなぐ」という観点が弱い。「入試」に焦点をあてすぎ
- ・わかったことが増えたような、とどまっているような、もやもやな感じです。

質問3. 【第1部】基調講演者の発表について

	人数	割合
良い	73	73.7%
どちらとも言えない	18	18.2%
改善すべき	8	8.1%
無回答	5	5.1%
合計	99	100%

質問3. 理由（「良い」を選択）

- ・共通試験の内容について少し理解ができました。
- ・大学入試改革の現状と企業が求める人材を的確に伝えられていた。
- ・現在の新テストの進みが改めて確認できました。小林氏の講演は今後育成すべき人材の道標となりました。
(北海道はよりガラパゴス)
- ・グローバル人材育成という漠然としたテーマが少し明らかになった。
- ・入試改革に関する具体的な変更の情報が得られた。時間切れになったのは残念。グローバル人材育成のポイントを知ることができた。
- ・大学入試共通テストについてももう少し詳しく知りたかった。
- ・もっと時間をとって、じっくり聞きたかった。
- ・大塚先生の講演で新制度の詳細がよく分かりました。

- ・現状（大学入試新改革の）が良くまとめられていて内容、課題等分かりやすかった（大塚氏）
- ・但し、不確定要素がかなりあり、見えづらい。
- ・「読書考読＋語」、「人間力」何度も何度も意識して、覚え続けています。小林さん有難うございました。
 - ①今までのまとめの吐き出しになっていて、思いや現実のアナログ情報がほしかった。②非常に興味深かった、社会からの視点はものすごく重要。
- ・小林先生のお話はとても面白かったです。
- ・時間、もっと欲しかったです。
- ・資料は見ていたが、解説が加わってよかった(大塚先生)。何でこの場でこの話が出てきたのかわからない。トヨタの事例を聴いてもつまらない。トヨタだけが企業ではない。他の企業と共通するところもあるが(小林先生)。
- ・大塚先生の資料の最後の部分について、もっと詳しくお聞きしたいと思いました。
- ・入試改革とグローバル人材養成について貴重なお話を聞けました。
- ・繰り返しの話もあったが確認ができた。
- ・高校教育における示唆を与えて頂きありがとうございました。
- ・トヨタでの実体験の話、紹介には「なるほど」と思うものが多々あり、管理職としても大変参考になった。
- ・社会の（会社の）必要としている人材について、学校現場ではわからないことが見えた。
- ・トヨタの話に終始されたので、社会との連携が見えない講演だった。(小林氏)
- ・小林氏の話は、学校に戻すと、人を育てることが大事であとから勉強しようとする自律の力がついてくるのだと思い、大切なことは何か実感しました。
- ・理念、哲学を理解いたしました。
- ・入試改革とグローバル化についての現状を少しでも認識できた。
- ・CBT化が進むことが第2部との関連で思えてきました。

質問3. 理由（「どちらとも言えない」を選択）

- ・大塚氏の話があまりにも途中で終わってしまい、大変残念。小林氏の話は、それ自体は大変良い内容であるがフォーラム全体のつながりとしては焦点が少し呆けて感じられた。（すでに背景として了解されている内容）
- ・最も聴きたかったのは「北大の入試改革」について。それ以外もう少しコンパクトでよかったのでは。
- ・講演2における「グローバル」を視点にした講演と講演1とのつながりが、正直不透明に感じました。「グローバル」における入試の意味とはつながりにくいかと思います。ただ、講演は非常に興味深かったです。
- ・企業としてトヨタは素晴らしいが魅力ある商品作りという点で考えるとsubaruやvolvo等に学ぶ点が多いので今後の企業戦略や方針を語って頂きたかった。
- ・話を最後までお聞きしたい。
- ・1 北大入試：参考になりました。 2 グローバル人材：入試とあまり関係ない。 3 北大入試改革：貴重な機会になった。
- ・社会をつなぐ大学入試についての課題が乏しかった。
- ・企業の方の話は別の機会が良いと思う。
- ・自己紹介が少し長く、話の重要な部分が聞けなかった気がする。
- ・高大接続改革の進捗の資料だけではわかりづらい。“企業が求める・・・”は一般的であり興味がか

なかった。

- ・新しい視点は特になかったが、理解は深めることができたのはよかったと感じたから。

質問3. 理由（「改善すべき」を選択）

- ・講演1・2共に時間配分に問題があり、本論が物足りなかった。
- ・大塚氏のお話は文科省の発表どおりだったので残念。小林氏のお話はトヨタの自慢話。知りたかったのはリアル社会の中でグローバル人材に求められる資質・能力の話。この点にもっとフォーカスしてほしかったです。
- ・もう少し時間をとって説明してほしい。（パブリックな会議なので多くの参加者の意見を聞きたい）
- ・時間が足りていません。
- ・総体的で中身が薄くなってしまっている。
- ・時間不足
- ・時間が短いように思います（小林氏の新渡戸スクールでの実践内容を伺いたく思いました）。

質問4. 【第2部】現状報告者の発表について

	人数	割合
良い	86	83.5%
どちらとも言えない	14	13.6%
改善すべき	3	2.9%
無回答	1	1.0%
合計	103	100%

質問4. 理由（「良い」を選択）

- ・高校の現状報告が非常に分かりやすかったです。北海道の現状を知ることもできました。
- ・北大の新入試対策の現状が把握できた。
- ・北海道の大学入試の状況が参考になった。大学入試のこれから、大学のAPが見え参考になった。
- ・コンピテンシー評価の方向性や、北海道の現状、危機感を感じることができた。
- ・高校、大学の現状を感じることができた。
- ・もっと時間をとって、じっくり聞かせてほしかった。
- ・北大の入試改革の方向性、道内の高校の状況がそれぞれ分かりました。
- ・東北地区から見て、北大、北海道の現状が理解できて参考になった。
- ・こちら側の話の分量を増やしてほしかった。
- ・大阪には感じにくい北海道の高校の現状、風土についてよくわかりました。
- ・北大の入試改革についてもかなり不確定な要素があり、こちらにも生徒指導の道すじが見えてこない。
- ・現場を熟知していらっしゃる西嶋先生のお話は、大変感銘を受けました。
- ・報告1は内容が良くわからない。報告2は報告、提言も具体的かつ明確で良かった。
- ・現場での苦労、実態がわかった。
- ・西嶋先生の話は共感できる部分が多くあり、これからの高校との意見交換の際に役立つ。池田先生の話は今日の一番のメインかと思っていたが具体性に欠けて期待外れ。
- ・西嶋先生の、北海道の高校教育に対する危機感に共感を覚えます。本音が聞けてとてもよかったと思います。
- ・北海道大学さんのコンピテンシーにおける今後の動向が大変参考になりました。

- ・新しい情報を得て、今まで拡散していた情報の整理ができたため。
- ・西嶋先生、高校現場からの視点があり、良かった。共通点あり。
- ・池田先生の話をもう少し掘り下げてききたかった。
- ・ただ、北大の入試については、すでに知っている情報が多かった。
- ・色々な指標を数値化し評価する取り組みは、今後運用して出た課題も参考にしていきたいので、また報告イベントを期待する。
- ・高校の実情や、北大の取り組みがよくわかった。
- ・生徒の育成像が見えたと感じられたから。
- ・高校にとって「出口」大学にとって「入口」といった「点」の理解から一歩踏み込み、高校教育の質の向上、大学教育さらには大学院教育・研究の「見える化」に向けての方向性を感じ取りました。
- ・高校時代の恩師である西嶋先生から北大入試に関する熱い思いを聞いた。
- ・大学内での評価システムの構築過程が参考になりました。
- ・本当にその通りだと思いました。
- ・高校現場を知る西嶋先生の声が中央に届いてほしい。高校教員の願いです。
- ・西嶋先生のお話がとても分かりやすく、今後の進路指導に向き合う際の心構えを再認識させられました。
- ・北大の取り組みと、北海道の高校の現状が伺え、道外大学関係者としては貴重な情報収集ができたと思います。

質問4. 理由（「どちらとも言えない」を選択）

- ・3年後、一部で実施の（可能性がある）割に話が具体的でない。
- ・まだ決まっていないかもしれないですが、具体性がなくてもこれからも情報発信していただきたいと思います。
- ・前校長のお話では、広い視野からの話という印象がありませんでした。
- ・北大コンピテンシーの具体的な構成・中身について知りたかった。
- ・結局北大の個別試験、推薦はどうなるのでしょうか？目指す所はわかりましたが。
- ・コンピテンシーはどのような力でどうすればのびるのかなど具体性に欠ける。

質問4. 理由（「改善すべき」を選択）

- ・北大の入試改革の状況を知りたくて参加致しましたが、北大版コンピテンシーなどもっと具体的なお話が聞きたかった。国大協が定める30%という目標を果たして目指しているのでしょうか？
西嶋先生、「理数探究」になったのはもう一年以上も前の話。理科の先生が本当にそう思っていますか？
- ・時間が足りません。

質問5. 【第3部】総括討論（パネルディスカッション）について

	人数	割合
良い	81	79.4%
どちらとも言えない	16	15.7%
改善すべき	5	4.9%
無回答	2	2.0%
合計	102	100%

質問5. 理由（「良い」を選択）

- ・素直な意見が聞けて良かったです。
- ・大塚先生の本音（心）が少し見えました。
- ・入試の変化に否定的な考えを持っていたが、この変化についていかなければならないと強く感じた。
- ・社会で求められる力→大学教育→大学で求める人材→中等教育のつながりが見えた。共通テストには不安を感じた。
- ・単純に面白かった。
- ・本音が聞けた。一番興味深かった。
- ・西嶋先生の鋭い御意見に深く共感いたします。
- ・もう少し北大の考えていることが、具体的にになった所で聞きたい。今月は総論OKといったところ・・・
- ・バランス良く質問をふられていたかと思います。
- ・深い話題も聞けたため
- ・テーマが入る入試改革なので大塚先生や池田先生の話を中心にお聞きしたかった。
- ・回答の先生にはよく答えていただきました。
- ・やはり、トヨタ＝企業（経験者）が参加していたのはよかった。北海道の地域性を考える農業、観光など、または行政（道や市町村）からの参加もいいかもしれませんね。
- ・北大の入試改革の方向性が見えたから。
- ・質問に対し具体的な話がきけて参考になった。（この時間をもっと長くしたらいいと思う）
- ・発表とあわせて、有意義なお話が聞けました。
- ・具体的内容で実りがあった。
- ・各発表者の方の論点が頭の中で整理されたから。
- ・双方向にやりとりがあると、興味をもって聞くことができるため。
- ・多角度に課題にむけてのアプローチ方法が決められよかったです。
- ・具体的かつ深い部分の話を聞かせていただいた。
- ・1・2部でバラバラになっていた知識が少しずつまとまった気がしました。
- ・討論形式とは少し違いましたが本音が聞けて興味深かったです。
- ・もっと本音がでると、もっとよかったと思います。
- ・答えるにくいところもお答えいただきありがとうございました。
- ・よい質問が出て、全体的にまとまった感があったことと、これから本学としても考慮すべき課題点が「質問」という形で見えたところがよかったです。

質問5. 理由（「どちらとも言えない」を選択）

- ・もっと多くの質問に答えてほしかった。
- ・質問への回答だけで、テーマをもった討論にはなってなかった。
- ・司会が難しかったと思います。
- ・質問票に対する個別の解答（回答）が主であったが、テーマに則して討論も必要かと考えた。
- ・ディスカッションになっていないのが残念でした。質問コーナーでした。
- ・質問に答えるだけでは物足りない。パネリスト間での意見交換が聞きたかった。
- ・もっと時間を。フロアから、その場でも質問を。

質問5. 理由（「改善すべき」を選択）

- ・パネルディスカッションのテーマを設けたほうが良いかと思いました。話がとりとめないものになっていったように感じたので。
- ・しり切れトンボというか、ただの質疑応答になってしまった。
- ・今回の進行方法では、4人のゲストを並べる意味はないと思います。再考を。
- ・入試改革フォーラムなのに新渡戸フェローの話に時間を割りすぎているように思う。
- ・バラバラの質問に答える形式では、パネルディスカッションの意味がない。何らかのテーマに基づいたディスカッションを聞きたかった。

質問6. 今後の「北海道大学入試改革フォーラム」について、どのような形式・テーマを望みますか。

- ・前期日程の入試問題についての検討や改革についても、進捗状況等知る機会があるとありがたいです。
- ・ICTの活用について
- ・具体的な話が聞きたいです。
- ・共通テストの活用方法
- ・高・大・社の流れを維持して下さい。今回的人選はその所属する団体において適切だったと思います。
- ・パネルディスカッションにより、それぞれのパネリストが伝えたいことが明らかになり非常に有意義だった。
- ・今回のような形状で良いと思います。
- ・「説明会」「意見交換会」という形の方が良いのでは。パネリスト間、パネリストとコーディネーターとのやり取りがもっと欲しい。
- ・北大版コンピテンシーおよびルーブリックの説明
- ・来年、一年の間にどこまで話が進んだかきかせて頂ければ幸いです。
- ・高校・学生との意見交換会などはどうですか？
- ・高校で実際に行われている教育について述べる場であってもよいかと。
- ・テーマ決定はいいと思います。が、教育改革はもう目の前です。もっともっと深い学びとなるフォーラムの内容を期待したい。新テストに悲観的な主張ばかりでなく、どう取り組んでいくかを語ってほしい。北海道は2年遅れていますヨ！もっと全国を意識して欲しい！すべては生徒/学生のためです！！北海道、大丈夫ですか？心配です。
- ・同様にいいと思います。どれだけ進んだのか見えますから。
- ・AP事業の成果について
- ・コンピテンシーテストの概要を紹介していただきたい。
- ・共通テストの「英語」民間導入について、動きがあったら知りたいです。
- ・今後も入試に関する情報の提供をお願いしたいです。
- ・入試改革の新しい情報や後の展望についてお願いします。
- ・入試の変更について具体的に知りたい。
- ・高校での具体的につけるべき力を考えたい。
- ・テーマは同じでも、内容は徐々に具体的なものとして示してほしい。
- ・できれば土曜、日曜で開いてほしい。
- ・もっと高校現場とのコミュニケーションをオープンにする必要がある。そのような場をつくると良いのではないか。“社会をつなぐ”を一つの柱に置くのであれば、企業からの報告、提言は続けてほしいと思います。

- ・文科でパブリックコメントを求めているので、このような公開のフォーラムで、多くの意見をきいて文科省へ参考として上げてほしい。
- ・北大コンピテンシーの今後に注目しています。
- ・高等学校基礎学力テスト（仮称）の内容についての進捗状況。
- ・今迄に報道された内容や抽象的な内容が多かったので、データ等に基づいたもう少し具体的な講演、報告を望みます。
- ・後期中等教育～高等教育はかなり人材育成について考えていますが、その前段階、前期中等教育のあり方も考えなければ先はないのではないのでしょうか。
- ・文科省AP事業に関連したテーマ
- ・入試改革については学びはじめたばかりでまだ思い浮かびません。
- ・1つのテーマを提示し、パネルディスカッションの時間を長くしていただけたら。また、教育分野しか知らない教員は、今回の様に異業種からのお話がきけると嬉しいです。
- ・継続されることを希望します。3年程度実施し改善のための集約、評価があればと思います。
- ・概要はだいぶご報告いただけたので、新テストや、調査書において見られるポイントなどをより詳しく教えていただければと思います。
- ・入試改革の新進状況に応じて、同様のテーマで。
- ・これでよい。北海道の大学の改革フォーラム。
- ・今回と同じテーマでさらに深めた内容を望みます。
- ・新入試に向けての情報発信をお願いしたい。
- ・様々な立場の方々のお話がまた聞けるスタイルを望みます。
- ・今回の形式を維持し、各先生方のご講演の時間をたっぷりとってほしいです。
- ・もう少し会場とのクロストークを入れたり、情報交換会の実施を希望します。また、OCWでの公開を予定されているならば、事前に公知いただけると助かります。

質問7. その他（全般的なご意見・ご感想について）

- ・特に総括討論が非常にありがたかったです。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・タイムリーなテーマに、各界からのコメンテーターを準備していただけてとても参考になった。
- ・TGP入試ばかりがクローズアップされるので、定員の全体をどのように組むのかを盛り込んだ方がよいと思いました。
- ・企業の人事担当者、採用担当者のお話も聞きたいです。
- ・フォーラムの時期についてですが、5月下旬～6月上旬は高体連の支部、全道と重なっています。時期について一考いただけると参加しやすいです。
- ・テーマに則してはいたのかもしれないが、企業の話には異質感があった。
- ・西嶋先生のお話で、不安や悩みの共有ができ良かったです。
- ・新制度での入試、将来的には定員の2割程度を想定しているとのことでしたが、大学としてのdomain of competencyは共通だという認識で良いのか？
- ・高校といっても多様な学校があります。そんな高校にチャンスが広がる入試であればと思います。
- ・貴重な機会をありがとうございました。
- ・結局、入試改革の必要性がわからない。本当に現行の制度に問題があるのだろうか？西嶋先生の12年前の東高の理念を聞いても問題がそこにあるとは思えない。

- ・ 2時間半休憩なし、空調なし・・・厳しかったです。次回の参考にして下さい。
- ・ 第1部と第2部の間にトイレ休憩があればよいと思いました。
- ・ お忙しいところ企画していただきありがとうございました。
- ・ このような機会を与えていただきまして、ありがとうございました。
- ・ トヨタのグローバル人材の情報が古いように感じた。
- ・ とにかく、はっきりとした形を早く示してほしい。生徒への混乱は絶対にいけない。
- ・ 大学入試改革は理想が盛りだくさんで、理念ばかり先行してて2020年期限ありきで具体性、公平性、現実性が見えてこない。北大の入試ではボーダーライン上での調査書の採用もあり得るが、高校にも先生にも採点の公平性、個人差もあるので調査書が悪くても、再チャレンジできるしぐみを残してほしい。
- ・ グローバル社会に適合する人材、経済界が求める人材をつくるのが大学の目的ではない・・・ですよ。
- ・ 入試改革の頭出し的企画だと思うが、入試の実施に向けて不透明で実験的性格であることのみがよくわかった。
- ・ 初めての参加でしたが、とても参考になりました。ベネッセ、リクルートさんとは異なる視点、アプローチがたくさんありました。ありがとうございます。
- ・ 社会からの人選、現役の第一線から選んでほしい。
- ・ 全般に詰め込みすぎ。参加が多かったが、質問や意見交換が不十分。共通テストと北大入試にしほり、高校側からの質問や意見をたくさん出してもらいたい。
- ・ 大変な負担になるかと思いますが、コンピテンシーテスト・TGPを前期にも導入してほしい。だめならTGPのみでもお願いします。
- ・ 公教育の生の声をお聞きする貴重な機会をいただき感謝しています。
- ・ 池田先生のお話を3時間くらい聞いたかった。
- ・ 第1部～第2部の間に休憩がないのは体調面で厳しいです。
- ・ ぜひ来年以降も参加したいです。
- ・ 厳しい質問に対しても真摯に答えて頂きありがとうございました。目標は学習する高校生、考える学生を育成することですが、合格させる側、受ける側ばかりをクローズアップするとおかしなことになっていくと思います。小林氏の言うように「人づくり」だと感じました。
- ・ 入試の情報について、「いつからを目指しているのか」など具体的でない不安が増すばかりなので、その部分を中心としたフォーラムを開いてほしい。
- ・ 資料のボリュームが多すぎて消化不良気味ですが、第3部で頭の中が整理できました。
- ・ わかっちゃいるがこうなんだ、という本音が聞けたかな？北大は“北海道のリーダー”としての視点をもつてほしい。
- ・ 貴重な場をありがとうございました。
- ・ 道内から北大への合格者を増やすために何をしていけばいいのか、北大の方の意見を聞きたいです。
- ・ 特にありません。

参加者集計

1. 参加者総数

272名

2. 参加者内訳

講演者等（挨拶・司会・コーディネーターを含む）	9名
大学関係者	55名
高校関係者	125名
教育産業	38名
北大スタッフ	8名
その他	37名
合 計	272名

3. 地域別参加者数

北海道	225名
東北	9名
関東	16名
近畿	6名
中国	2名
九州	4名
不明	10名